

令和7年第4回龍ヶ崎市議会定例会
一般質問一覧表

番号	議員	質問の要旨
1	札野章俊	<p>1 市内（1種住居）で開業されるコンテナホテルについて</p> <p>（1）松ヶ丘に建てられることになった経緯、旅館等審議会の意見</p> <p>（2）建築基準法・消防法・旅館業法などの各種法規に対する整合性</p> <p>（3）災害時の市内宿泊施設と市の協定、当該ホテルと市の協定</p> <p>（4）住居地域にホテルを建築すべきではないと考える</p> <p>（5）地域住民を置き去りにしたホテル事業に対する市の所見</p> <p>2 外国人就労者について</p> <p>（1）市内の外国人数と居住実態</p> <p>（2）市内の外国人寄宿舍の把握</p> <p>（3）藤ヶ丘7区における外国人寄宿舍の計画の認識</p> <p>（4）外国人就労者の増加見込みに対する懸念点とその対策</p> <p>（5）本市の移住定住の取組と今後の展開について</p> <p>3 龍ヶ崎市内の街づくりの方向性について</p> <p>（1）（株）サラの事業中止と停車場線沿いの農振農用地を含めた土地活用について</p> <p>（2）ライトレール構想で先進的なベッドタウンの構築をすべきと考えるが市長の考えは</p>
2	久米原孝子	<p>1 ゴミ分別について</p> <p>（1）ゴミ分別状況について</p> <p>（2）ゴミ分別アプリの導入について</p> <p>2 公立小中学校での外国人児童生徒への支援策について</p> <p>（1）現状について</p> <p>（2）対応状況について</p> <p>（3）支援の充実について</p> <p>3 介護支援専門員（ケアマネジャー）について</p> <p>（1）現状について</p> <p>（2）ケアについて</p> <p>（3）支援について</p>

		<p>4 高齢者の生きがいづくりについて</p> <p>(1) 当市の取組について</p> <p>(2) 活動をするための仕組みについて</p> <p>5 障がい者の在宅就労について</p> <p>(1) 在宅就労の概要について</p> <p>(2) 当市の対応について</p>
3	山 宮 留美子	<p>1 児童虐待防止対策について</p> <p>(1) 児童虐待の現状について</p> <p>ア ここ10年の相談件数の推移と相談の内容（身体的・心理的・ネグレクト・性的）について</p> <p>イ 背景と要因について、その現状と課題について</p> <p>ウ 児童相談所との連携について</p> <p>(2) 早期発見・通報体制について</p> <p>ア 市の児童虐待防止に対する研修の取組について</p> <p>イ 虐待に対する市民への周知について</p> <p>(3) 家庭への支援や再発防止について</p> <p>ア 学校や保育所等や医療機関との連携はどのようになっているのか</p> <p>イ 一度虐待が発生した家庭への継続的な見守り支援体制について</p> <p>(4) 地域全体での取組について</p> <p>ア 地域で虐待に気づいた時の相談体制と子ども自身がSNSなどを通じて相談できる仕組みについて</p> <p>イ オレンジリボン運動に対する市の取組について</p> <p>2 HPVワクチン男性接種の現状について</p> <p>(1) 接種の現状について</p> <p>(2) 9価ワクチンの周知について</p> <p>(3) 今後の取組についての市長の考え</p>
4	大 野 みどり	<p>1 湯ったり館の解体と花木公園の整備について</p> <p>(1) 「湯ったり館」が閉館になった経緯と理由について</p> <p>(2) サウンディング調査について</p> <p>(3) 「湯ったり館」の解体とその後の「花木公園」の整備を決めた経緯について</p>

		<p>(4) 地元板橋町の環境整備委員会への説明と承諾について</p> <p>(5) 解体や整備に係る予算と今後のスケジュールについて</p> <p>(6) まちづくり・文化財団の解散との関係について</p> <p>(7) 夢のある「花木公園」整備の分かりやすい説明について</p> <p>2 ペットの災害対策について</p> <p>(1) 当市のガイドラインの内容について</p> <p>(2) 「ペット防災ハンドブック」の作成について</p> <p>(3) ペット同行避難の周知について</p> <p>(4) ペット同行避難訓練の実施について</p> <p>3 備えない防災「フェーズフリー」について</p> <p>(1) 「フェーズフリー」の認識と周知について</p> <p>(2) 「ローリングストック法」講座について</p>
5	大 竹 昇	<p>1 当市の2050年カーボンニュートラル実現に向けて</p> <p>(1) 当市のカーボンニュートラルへの背景について</p> <p>(2) 当市におけるカーボンニュートラルの目標値設定と実行計画について</p> <p>(3) 当市の2030年温室効果ガス43.3%削減の実現性について</p> <p>ア 市民や産業界との体制づくりについて</p> <p>イ 市民や産業界への太陽光パネル等や電気自動車の普及について</p> <p>(4) 2050年カーボンニュートラル実現に向けた見解について</p>
6	藤 木 妙 子	<p>1 救急搬送における選定療養費の徴収について</p> <p>(1) この制度の主旨とは</p> <p>(2) 市立の保育所、小中学校及び市内の保育園、幼稚園の現状</p> <p>2 ラインでのコミュニティセンター予約</p> <p>(1) ライン予約を始めた経緯</p> <p>(2) 問題点と今後の対策</p> <p>3 市長の政治理念とは</p> <p>(1) 龍ヶ崎市の繁栄のために、最重要な施策は何ですか。3つお答えください</p> <p>(2) 上記を実施するための対策</p>
7	椎 塚 俊 裕	<p>1 まちなか再生と魅力ある都市拠点について</p>

		<p>(1) 市長のまちなか再生に対する思い又は都市拠点として交流拠点としてのまちづくりについて考えをお伺いします</p> <p>(2) まちなか居住地の人口傾向と高齢化率推移をお知らせください</p> <p>(3) 龍ヶ崎のまちなか再興をどのように選択をしていくのかという社会デザインをした上で、処方箋を探して進めていく必要がある</p> <p>ア 高校生政策コンテストで「アートの付加価値で商店街を再興」は、まちづくりの起爆剤になるのでは</p> <p>イ 岡山県玉野市で「クリエイティブカップル移住プロジェクト」というプロジェクトがありますが、当市の参考になるのではないかと思います。ご所見を伺います</p> <p>(4) 商店街に設置している街路灯は、各商店会で街路灯組合等を組織し管理しています。現在、空き店舗等により組合員数の激減と共に、各組合運営が厳しく存続が危機的状況です</p> <p>ア 存続していくための解決策を模索しています。老朽化した灯柱の劣化による倒壊、落下リスク等の防止策の問題に対しても、維持管理をどのようにしていくのか、各街路灯組合との方向性確認しながら行政との協議会の開催を希望しますが、ご所見を伺います</p> <p>(5) 市内最大の夏祭り。市では無形文化財の龍ヶ崎の撞舞をメインにPRします。なぜ龍ヶ崎の祭り全体をPRしないのか、ご見解をお伺いします</p> <p>ア 祭り全体のPRをしないのは市としてマイナスではないか</p>
8	杉 野 五 郎	<p>1 当市の下水道事業を検証する（その2）</p> <p>(1) 八潮市での下水道管破裂による道路陥没事故の波紋</p> <p>(2) 当市での当該事故発生を受けての対応</p> <p>(3) 9/18付け新聞報道「下水道管300kmに陥没リスク」（国交省600km調査分の内）</p> <p>(4) 当市内での全国特別重点調査で判明した実態は</p> <p>(5) 今後の対応（道路陥没リスク解消へ向けて）</p> <p>2 未届け「有料老人ホーム」の実態について</p> <p>(1) 「有料老人ホーム」（届け出済）への市での扱いは</p>

		<p>(2) 未届け当該施設の続出（全国で584件）の問題点</p> <p>(3) 未届け施設続出の背景は（特養入所待機者の増加が起因か）</p> <p>(4) 未届け施設防止への規則強化へ</p> <p>(5) 「特別養護老人ホーム」（特養）入所待機解消へ向けて</p> <p>(6) 「就職氷河期世代」が担う介護（2033年約200万人）が迫る</p> <p>3 当市の「財政収支見通し」（令和7年10月現在）推計結果について</p> <p>(1) 累積収支不足額（赤字）124億円で19億円赤字幅増（118.2%）</p> <p>(2) 債務（借金）残高115億円弱で微増（101.2%）</p> <p>(3) 一般基金残高は85.5億円で28.1億円的大幅増（149%）</p> <p>(4) 当該見通しの総括は（どう評価するか）</p>
9	伊藤悦子	<p>1 安全・安心の下水道事業について</p> <p>(1) 下水道管の現状と調査について</p> <p>(2) 老朽化の対策について</p> <p>(3) ウォーターPPP導入の検討について</p> <p>2 小中学校の体育館にエアコンの設置を</p> <p>3 終活支援について</p> <p>(1) 終活登録制度について</p> <p>(2) 遺品や残置物の処分について</p>
10	櫻井速人	<p>1 牛久沼の景観を利用再検討</p> <p>旧道の駅建設予定跡地の今後について</p> <p>（ドッグラン、いこいの広場などへの活用検討）</p> <p>(1) 市民健康の森ドッグランの利用状況や運営状況について</p> <p>(2) 旧道の駅建設予定跡地のその後について現在の動きは</p> <p>(3) 龍ヶ崎に自然を堪能できる憩い、集いの場所作りについて</p> <p>2 格闘技で地域活性（スポーツ振興と教育支援、健康づくり）</p> <p>(1) 地域資源としての格闘技の活用について</p> <p>(2) 教育現場での活用提案</p> <p>(3) 高齢者福祉、健康サポートへの活用について</p>
11	山村尚	<p>1 特区制度を活かした地域活性化について</p> <p>(1) 特区制度の把握・情報収集の現状</p>

		<p>(2) 特区制度の活用可能性について</p> <p>(3) 企業誘致・スタートアップ支援等への活用の可能性</p> <p>(4) 広域連携による地域連携型特区の可能性について</p> <p>(5) 特区制度の活用についての市長の考え</p> <p>2 自治体の広域連携による地域の持続的発展について</p> <p>(1) まちづくり戦略における広域連携の位置付け</p> <p>(2) 観光を軸とした圏域連携と本市の役割</p> <p>(3) 防災・危機管理分野での広域的な連携強化</p> <p>(4) 医療・福祉分野における連携と人材確保の取組</p> <p>(5) 広域連携の方向性と市長の基本的な考え方</p>
12	後 藤 光 秀	<p>1 外国人移民について</p> <p>(1) 本市の推移と課題</p> <p>(2) ゴミ出しルールの対応</p> <p>(3) 税金等保険料の納付率</p> <p>2 学校運動会について</p> <p>(1) 各学校の運動会の現状</p> <p>(2) 種目内容と開催時期</p> <p>(3) 今後の考え方</p>
13	加 藤 勉	<p>1 第3次龍ヶ崎市人材育成基本計画について</p> <p>(1) 今年度で当該計画が満了となるが、当該計画の達成状況をどのように総括されているのか</p> <p>(2) 具体的な人事施策について</p> <p>ア 個々人での目標管理シートや月間スケジュール管理は見直すべきではないのか</p> <p>イ ジョブローテーションをどのように評価していますか</p> <p>ウ 課題解決につながる先進地への職員派遣は実施しないのか</p> <p>エ 人材育成の観点からもグループ制を見直すべきではないか</p> <p>オ 多面評価は、どのような目的で実施されているのか</p> <p>(3) 次期計画策定でポイントとなる視点や考え方を示してほしい</p> <p>2 竜ヶ崎線の現状と利用促進の取組みについて</p> <p>(1) 過去10年間の輸送人員の推移とその傾向を伺いたい</p> <p>(2) 営業収支については、どのような状況でしょうか</p> <p>(3) 利用促進の取組としてどのようなことを実施されているのか</p>

		<p>か</p> <p>(4) 1日平均輸送密度が何人以下になると廃線のテーブルに載ることになるのか</p> <p>(5) 運行事業者とは、どのような話し合いをされていますか</p> <p>3 令和8年度当初予算編成について</p> <p>(1) 予算編成作業の進捗状況について</p> <p>ア 当初予算の編成に当たり、萩原市長が職員に向けて発出した基本的な考え方とはどのようなものか</p> <p>イ 予算編成作業の現在の進捗状況と、要求段階での収支ギャップはどのような状況か</p> <p>(2) 令和7年第3回定例会での萩原市長の答弁内容を確認したい</p> <p>ア 北竜台公園のリニューアル事業では、どのようなことを検討され、また、そのリニューアル事業はいつ頃に実施されるのか</p> <p>イ 牛久沼の活用は、どのような手順で進むのか</p> <p>ウ 若柴・台の下地区の活用や美浦・栄線バイパス沿道への企業誘致など、大きな可能性のチャレンジも模索しているとのことだが、もう少し分かりやすく説明願いたい</p> <p>(3) 令和8年度で柱となる政策事業はどのようなものがあるのか</p> <p>4 まちなかへの賑わいづくりや市全体の活性化のために、公共施設の配置をどのように活かすべきと考えていますか</p>
14	大野 誠一郎	<p>1 稲敷地方広域市町村圏事務組合の分賦金について</p> <p>(1) 構成7市町村の分賦金は、現在、基準財政需要額50%、職員配置割50%となっているが、公平性、公正性は確保されているか</p> <p>(2) 国から7市町村に支出される基準財政需要額に応じた負担割合に、即刻「見直し」をしないと更に格差が生ずるのでは</p> <p>2 ゼロカーボンシティ宣言表明後について</p> <p>(1) 宣言後の当市のCO₂の排出量と吸収量は</p> <p>(2) CO₂削減に取り組むべき方策のPPA事業について</p> <p>(3) その他取り組むべき方策の具体的な取組、件数、削減量は</p> <p>3 スポーツライミングについて</p> <p>(1) 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」基本構想では、若者を呼び起こし、にぎわい創出に寄与すると謳われているが、そ</p>

		<p>の効果は</p> <p>(2) 令和6年度開催のユース大会の経済効果は</p>
--	--	--